

平成18年9月15日

近畿日本鉄道株式会社

～関西私鉄初～

最高速度110km/hで電車線の状態等を測定できる  
電気検測車「はかるくん」を導入します。

近鉄では、これまで電車線の摩耗や高さ、ATSなどの検査を最高速度30km/hの電気検測車で夜間に実施していましたが、この度、関西の私鉄で初めて、最高速度110km/hで昼間時に検査できる電気検測車「はかるくん」を導入しますのでお知らせします。

これにより、営業列車と同等速度で電車線の状態を測定できる等、より精緻なデータを効率的に収集できることとなり、そのデータを日々の保守計画に生かすことで、安全輸送に大きく貢献します。

昼間時に走ることでお客様の目に触れる機会も多くなるこの電気検測車「はかるくん」を、近鉄電車の新しい仲間としてお客様にも親しんでいただければと考えております。

記

1. 電気検測車「はかるくん」の特徴

- (1) 車両名称 電気検測車「はかるくん」
- (2) 導入年月 平成19年3月(予定)
- (3) 製造両数 2両1編成
- (4) 製造費 約4億4千万円
- (5) デザインコンセプト

チェック(=測る)柄を取り入れ、そのチェック柄の中に信号など電気・通信設備をデザインし、親しみやすさを心掛けました。



( 6 ) 主な検測項目

- ・ 電車線の摩耗
- ・ 電車線の位置 (高さなど)
- ・ 営業列車と同等速度で走行中での、パンタグラフと電車線の接触状態
- ・ 営業列車と同等速度で走行中での、パンタグラフが受ける衝撃
- ・ ATS 地上子の周波数など

( 以 上 )